

「全学共通科目修学案内」改訂の記録

光 田 淳 二 (教育学研究科2年)
小 山 沙 織 ()
近 成 麻 子 (教育学部3年)
葛 城 浩 一 (大学教育開発センター)

はじめに

大学教育開発センターでは、毎年新入生に対して、「全学共通科目修学案内」(以下、「修学案内」と表記)を配布しているが、その目的は二つある。ひとつは、教養教育の理念とそれに基づいて大学教育開発センターが提供する講義科目の区分とその意義とを学生に伝え、勉学への意欲を喚起すること、もうひとつは、実際の履修上の情報を伝えることである。しかし、現在の「修学案内」は、それぞれの点で不十分といわざるをえない。その原因は、現在の「修学案内」が、学生の現状と関心を十分に把握してつくられていないことにある。

そこで、大学教育開発センターでは、学生参加による全学共通教育の修学支援システムの構築を視野に入れながら、教職員と学生とのインタラクティブな作業により、「修学案内」の全面的な改訂を行うこととした。幸い、この取り組み(「学生参加による全学共通教育の修学支援システム構築-『修学案内』改訂を中心に-」)は、平成19年度特定施策推進経費(教育改革等推進経費)に採択され、資金的援助を受けたことで、十分な成果をあげることができた。本稿は、その改訂の一連の過程を記録するものである。

1. 利用状況の把握

まず、修学案内の改訂作業に先立って、修学案内の利用状況に関する調査を行った。調査対象は本学の1年次の学生である。使用するデータは、2007年10月に実施した、1年次の学生全員を対象とした調査である。この調査では1,163名の学生からの回答が得られ、その回収率は91.9%であった。

表1は、修学案内にどの程度目を通したのかについての回答状況を示したものである。この結果をみると、「かなり目を通した」が17.3%と比較的少数であり、「ある程度目を通した」が72.0%と大半を占めている。一方、「あまり目を通してない」が9.8%、「目を通してない」が0.9%と、修学案内をほとんど利用していない学生が1割もいることが確認された。

表1. 「全学共通科目修学案内」にどの程度目を通したか

	全体	教育	経済	法	医	工	農
かなり目を通した	17.3	19.1	16.9	21.8	9.0	13.9	25.0
ある程度目を通した	72.0	70.5	71.1	72.8	75.9	73.2	69.2
あまり目を通していない	9.8	9.8	11.0	4.8	13.1	12.6	5.1
目を通していない	0.9	0.6	1.0	0.7	2.1	0.4	0.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注：値は%。以下同様に表記。

表2は、全学共通科目全般及び各授業区分の意義についてどの程度理解しているかについての回答状況を示したものである。この問いでは、「理解している」「ある程度理解している」「あまり理解していない」「理解していない」の4段階でたずねているが、表では上段に「理解している」の値を、下段に「ある程度理解している」の値を示している。

この結果をみると、全学共通科目全般では「理解している」が10.9%、「ある程度理解している」とあわせても8割に満たない。各授業区分でみると、主題科目や共通科目で「理解している」の値が低く、特に主題科目では「ある程度理解している」とあわせても7割に満たない。

それでは、こうした全学共通科目の意義を理解する上で何が役に立ったのだろうか。表3は、複数回答で「役に立った」と回答した割合を示したものである。この結果をみると、「全学共通科目修学案内を通じて」が43.6%であるのに対し、「シラバスを通じて」が62.5%ともっとも高く、「講義の受講を通じて」も42.8%と高い値を示していることがわかる。「講義の受講を通じて」はまだしも、シラバスには全学共通科目の意義が明示されているとはいえないことを考えると、学生はシラバスに目を通す過程で、学生自身の中で全学共通科目の意義を帰納的に構築していると考えられる。そうした場合、全学共通科目の意義が学生に都合のよいように解釈される可能性があることを考えれば、全学共通科目の正しい意義を理解してもらえよう、学生にとって利用しやすい修学案内に改訂する必要性があることが確認された。

表2. 以下のそれぞれの意義についてどの程度理解しているか

	全体	教育	経済	法	医	工	農
全学共通科目(全般)	10.9	12.6	10.0	13.0	13.2	10.6	6.9
	67.4	64.4	72.0	63.7	57.6	68.1	73.6
主題科目	10.4	11.5	11.0	11.6	13.2	7.2	8.8
	58.0	60.9	62.8	50.0	55.6	57.0	56.6
共通科目	11.8	10.9	9.3	14.5	14.0	13.7	10.1
	65.6	62.6	70.4	58.6	56.6	67.1	72.2
外国語科目	29.8	29.3	32.9	29.5	27.8	26.5	31.8
	58.2	57.5	56.5	58.9	59.7	59.8	58.0
健康・スポーツ科目	16.3	24.7	10.0	11.0	27.8	13.4	17.8
	54.7	58.0	53.7	49.0	52.8	59.9	52.2
教養ゼミナール	16.7	20.2	15.3	20.7	22.2	12.0	14.0
	55.6	53.8	61.3	55.2	52.8	53.4	52.9

注：値は上段が「理解している」、下段が「ある程度理解している」の%。表4も同様に表記。

表3. 全学共通科目の意義を理解する上で何が役に立ったか

	全体	教育	経済	法	医	工	農
全学共通科目修学案内を通じて	43.6	38.3	48.3	53.7	29.0	43.0	45.3
シラバスを通じて	62.5	61.1	62.6	58.5	58.6	60.9	73.6
入学式後のガイダンスを通じて	20.9	24.6	18.5	21.1	18.6	24.7	17.6
4月にあった履修相談日を通じて	8.4	8.6	7.0	8.2	9.7	11.5	5.7
修学支援グループの事務職員を通じて	3.6	2.3	4.3	1.4	3.4	6.4	1.9
講義の受講を通じて	42.8	41.1	37.4	47.6	43.4	41.3	52.2
同級生を通じて	17.1	19.4	13.9	16.3	17.2	20.4	16.4
先輩を通じて	20.7	22.3	22.2	21.8	20.7	20.0	16.4

注：値は「役に立った」の%。表5も同様に表記。

なお、全学共通科目全般及び各授業区分の履修方法に関する理解度については、「理解している」との回答が4割程度で、「ある程度理解している」まであわせると8割以上の学生が肯定的な回答をしている（表4を参照）。それを理解する上で役に立ったものについては、「全学共通科目修学案内を通じて」が69.1%ともっとも多く、これに「シラバスを通じて」（68.5%）、「先輩を通じて」（59.6%）、「同級生を通じて」（55.1%）が続いている（表5参照）。先輩や同級生といったネットワークを通じての理解はある意味好ましいことでもあるが、これは修学案内の理解しにくさの裏返しとは考えられないだろうか。特に1年次生については、そうしたネットワークに恵まれない学生も少なくないことに鑑みれば、修学案内をみれば、その履修方法が十分理解できる形に内容を改訂する必要があることが確認された。

（葛城浩一）

表4. 以下のそれぞれの履修方法についてどの程度理解しているか

	全体	教育	経済	法	医	工	農
全学共通科目（全般）	42.2	43.1	39.1	46.8	47.0	38.4	43.7
	51.9	48.1	55.2	45.3	51.5	56.9	49.0
主題科目	43.5	47.5	41.9	46.0	47.7	37.2	45.0
	50.8	44.4	53.0	46.0	50.8	58.6	47.0
共通科目	43.2	45.6	41.6	47.5	48.5	36.6	44.4
	51.4	48.1	52.7	45.3	50.0	58.2	49.7
外国語科目	46.5	45.6	45.8	52.2	50.8	39.1	50.0
	49.2	48.1	50.5	43.5	47.7	54.0	47.3
健康・スポーツ科目	36.1	41.3	26.0	28.8	50.8	35.3	44.0
	45.1	46.9	41.9	37.4	48.5	51.6	44.0
教養ゼミナール	40.2	42.8	36.3	41.7	50.0	36.7	39.6
	49.7	47.2	50.4	48.2	48.5	54.4	47.0

表5. 全学共通科目の履修方法を理解する上で何が役に立ったか

	全体	教育	経済	法	医	工	農
全学共通科目修学案内を通じて	69.1	70.3	73.8	72.8	53.1	72.3	65.4
シラバスを通じて	68.5	66.3	67.2	70.1	68.3	69.4	71.1
入学式後のガイダンスを通じて	31.4	35.4	34.1	31.3	26.2	34.5	22.0
4月にあった履修相談日を通じて	22.8	29.1	22.5	20.4	18.6	28.5	13.8
修学支援グループの事務職員を通じて	13.2	12.6	12.6	8.8	12.4	15.3	17.0
講義の受講を通じて	24.1	22.9	22.8	25.2	21.4	25.5	27.0
同級生を通じて	55.1	62.9	55.3	41.5	50.3	58.3	58.5
先輩を通じて	59.6	72.6	64.9	55.8	57.2	46.0	61.0

2. 学生に対するインタビュー

修学案内の改訂に取りかかる前に、学生に対するインタビューを11月9日(金)の13時から1時間半ずつ2回にわけて行った。インタビューの対象となった学生は各学部の1、2年次生1名ずつである。大学教育開発センターの葛城浩一教員が進行役を、大学院生の光田淳二、小山沙織が記録役を務めた。インタビューでは、まず修学案内改訂のねらいを説明し、現在の修学案内の利用状況や、どのようにしたら利用しやすいものになるか、といった点についての聞き取りが行われた。学生から出された修学案内に対する意見をふまえて、どうすれば学生の視点で利用しやすい修学案内になるのかを考えた場合、そのポイントは(1)前年度入学対象者向けの内容は削る(新入生向けの冊子として徹底する)、(2)修学案内は授業履修の説明に徹する、(3)図や写真を多用し、見やすい構成にする、(4)授業の組み方や履修手続きはフローチャート等、簡単なモデルを示す、にあることがわかった。なお、以下に示す資料1は、学生から出された意見の詳細である。

(小山沙織)

資料1. 学生から出された意見

□教養教育の意義

- ・シラバスに載せてはどうか。
- ・長くてわかりづらい→4、5行程度にまとめる
- ・主題は、入学式後すぐに決定するため、意義を読んでいる時間がない
→入学式前に必要

□授業科目と授業名と講義題目

- ・内容がわかりづらいし、目立たない
- ・シラバスに載せる

全学共通科目に関する卒業要件

- ・分かりづらい→「Q&A方式」「よくある質問」という形でまとめては？
- ・例を示してはどうか
- ・前年度入学対象者の分は必要ない

外国語科目の履修方法

- ・一年次は最初からクラス分けされているので、必要ないのでは
- ・学ぶ目的等は、入学前の資料で読んでいる
→修学案内は、履修の仕方の説明に徹底する

試験に関する事項

- ・心得は必要…
- ・試験に関する日程は、付録としてカレンダーで載っていた方が見やすい

掲示及び諸手続き等

- ・掲示板の位置を地図プラス写真でわかりやすく
- ・諸手続きについては、各学務の場所を地図と写真で

開講科目要覧

- ・シラバスに載せた方が良い
- ・Web登録では自動的に授業コードが入力されるため、授業コードはいらない
- ・「備考」も必要ない

開講科目英訳一覧

- ・こちらもシラバスに載せた方が良いのでは
- ・留学生の人が必要であれば…
- ・留学生用に別冊子を作るのであれば必要ない

講義室等配置図

- ・医学部でも教養科目が開講されているので、教育以外の配置図も必要
- ・学部で配布される資料にも配置図は載っている
- ・○号室、食堂等が分かりづらい

集中講義一覧

- ・集中講義の一覧ではなく、それぞれ「主題」「共通」「健康・スポーツ」の場所に組み込んだ方が分かりやすいかも…

□修学案内のページ数の多さについて・・・手に取りやすくするためには

- ・字ばかりで読む気にならない
- ・前年度入学者対象のページは削っても良い
- ・学部ごとにわけては？
- ・留学生については別に冊子を作る

□全体を通して

- ・文字が小さい
- ・修学案内を学部ごとに分けてみてはどうか
- ・授業を組み立てる時に、シラバスと修学案内等、何冊も開かなくてはならないのは大変
→どこに何があるのか分からない
- ・履修に必要な手続き等をもっと強調してほしい

3. 改訂スケジュール及び役割分担

学生に対するインタビューの翌週、11月16日(金)の2時40分から、修学案内改訂に関する第1回ミーティングが行われた。参加者は、大学教育開発センター共通教育部長の中谷博幸教員、同センター教員の松根伸治教員、葛城浩一教員、修学支援グループの安藤智章、海老野薫、大学院生の光田淳二、小山沙織、学部生の近成麻子の計8名である。

このミーティングでは、まず中谷教員から修学案内改訂の目的が示され、続いて葛城教員から改訂スケジュールが示された(資料2参照)。その後、資料1に基づく学生に対するインタビューについての報告が小山からなされた。この報告を受けて、改訂の方向性を検討し、前節で示した改訂のポイント(1)前年度入学対象者向けの内容は削る(新入生向けの冊子として徹底する)、(2)修学案内は授業履修の説明に徹する、(3)図や写真を多用し、見やすい構成にする、(4)授業の組み方や履修手続きはフローチャート等、簡単なモデルを示す)が確認された。そしてそのポイントにしたがって、まず掲載内容の精選を行い、掲載内容が確定した時点で役割分担を行った。

資料3は、改訂作業の役割分担について示したものである。この資料では、内容ごとに矢印の左側に名前のある人物がその内容についての叩き台を作成し、右側に名前のある人物がその内容をチェックするという形で役割分担が示されている。今回の改訂は抜本的なものとなるため、基本的には学生に叩き台を作成してもらい、それを教員あるいは事務スタッフがチェックするというように役割分担がなされている。しかし、「はじめに」や「意義」のような重要度の高い項目や、「時間割表」や「担当教員一覧」のような抜本的な改訂がなされにくい項目については、教員あるいは事務スタッフが叩き台を作成し、それを学生がチェックするというような役割分担を行っている。

この役割分担にしたがって、叩き台の作成及びチェックがなされ、次のミーティングでは全員でそのチェックを行うという作業を繰り返し行った。当初、ミーティングは4回の予定であったが、抜本的な改訂ということもあって作業は難航し、年明けの1月11日(金)に第5回のミーティングを開き、そこで最終調整を行った。

(近成麻子)

資料2. 修学案内改訂スケジュール

11月9日(金) 3、4コマ

学生との座談会

- ・問題点の抽出・整理

11月16日(金) 4コマ

第1回ミーティング(中谷、松根、葛城、安藤、海老野、光田、小山、近成)

- ・問題点の共有
- ・改訂の方向性の検討
- ・次回ミーティングまでの課題の提示

11月17～29日

- ・各自による叩き台の作成及びチェック

11月30日(金) 4コマ

第2回ミーティング(中谷、松根、葛城、安藤、海老野、光田、小山、近成)

- ・叩き台の検討
- ・次回ミーティングまでの課題の提示

12月1～13日

- ・各自による叩き台の作成及びチェック

12月14日(金) 4コマ

第3回ミーティング(中谷、松根、葛城、安藤、海老野、光田、小山、近成)

- ・叩き台の検討
- ・次回ミーティングまでの課題の提示

12月15～20日

- ・各自による叩き台の作成及びチェック

12月21日(金) 4コマ

第4回ミーティング(中谷、松根、葛城、安藤、海老野、光田、小山、近成)

- ・叩き台の検討
- ・この時点で完成の目処をつける

資料3. 修学案内改訂の役割分担

学年暦：光田→安藤・海老野

はじめに：中谷→光田

目次：光田→葛城

* 目次をフローチャートに！

意義：松根→光田

* 図で教養教育の全体像が示せるとよいか？

** この部分を教員用にカスタマイズした冊子をつくるか？（松根→中谷）

卒業要件：光田→安藤・海老野

履修に関する一般的事項：小山→安藤・海老野

主題科目・教養ゼミ・共通科目の履修方法：小山→安藤・海老野

外国語科目の履修方法：松根→安藤・海老野

健康・スポーツ科目・高学年向け教養科目の履修方法：小山→安藤・海老野

履修の手続き・試験に関する事項：小山→安藤・海老野

大学内での自主学習について：小山→安藤・海老野

掲示及び諸手続き等：近成→安藤・海老野

時間割表：安藤・海老野→近成

講義室等配置図：近成→安藤・海老野

担当教員一覧：安藤・海老野→近成

よくある質問（新規）：近成→安藤・海老野

用語集（新規）：近成→安藤・海老野

監修：葛城・松根→中谷

4. 修学案内はどう変わったか？

上記のような手続きを経て、修学案内は大きく改訂されたわけであるが、具体的にはどのような改訂がなされたのだろうか。以下では、特に内容面での大きな改訂がなされた以下の5点について紹介したい。

(1) 目 次

新入生は、多くの戸惑いや不安の中で時間割を組んでいる。新修学案内は、こうした新入生の戸惑いや不安を少しでも軽減できるものでなくてはならない。そこで、まず時間割の組み方をフローチャートで段階的に示すようにした。この手順をふめば、全学共通科目についての卒業要件を満たすような時間割を組むことができるようになっていく。あわせて、各項目の掲載ページがわかるように、「項目早見表」も設けた（資料4参照）。

(2) 意 義

旧修学案内の「教養教育の意義」は10ページにもわたる非常に長いものであり、学生に対するインタビューでは、「長くて分かりづらい」という指摘がなされていた。そこで、全学共通科目の位置づけを図示し、視覚的にも理解を促すようなつくりにし、各授業科目群の説明についてもできる限り要点のみを示すようにした。また、コラム（「教養教育って必要なの？」等）で読み物的に情報を示したことで、読みやすいものとした（資料5参照）。

(3) 卒業要件

学生に対するインタビューでは、各学部の全学共通科目における卒業要件を示した表と注意書きは非常に分かりづらいという指摘がなされていた。表と注意書き自体については、学部の修学案内との関係で手を加えることができなかったが、新たに全学共通科目における卒業要件を満たしているかどうかを確認できるページを設けた（資料6参照）。なお、新修学案内は、当該年度入学生以外の卒業要件については削除した。

(4) 履修方法

全学共通科目の中でも特に主題科目や共通科目についてはその履修方法が複雑である。旧修学案内では説明はなされているものの、容易に理解することは難しかった。新修学案内では、具体的に履修方法のパターンをイラストで示すことで、視覚的に理解を促すようなつくりとした（資料7参照）。

(5) よくある質問・用語集

旧修学案内と新修学案内のもっとも大きな違いは、新規に追加されたこれらの項目である。「よくある質問」には、新入生が疑問に思いがちなことをQ&A形式で紹介している（資料8参照）。また、「用語集」には、新入生がはじめて耳にするような言葉を紹介するとともに、関連ページを付している（資料9参照）。これらの項目が追加されたことで、新修学案内は入学生にとって

非常に利用しやすいものになったと考える。

(光田淳二)

5. おわりに

改訂作業に入る前に、葛城教員から「改訂というよりは、まったく新しい修学案内をつくるつもりでやろう」という旨の話がなされた。これまでの修学案内を踏襲することなく、新しいものを一からつくるつもりでやろうということだった。そして、できあがった修学案内は、確かにこれまでの修学案内とはまったく異なった、新しいものとなった。総ページ数は約半分になり、小さい文字がひしめき読みづらかった本文も、内容や表現を精選し、イラストや写真などを多く用いたことで、非常に見やすく分かりやすいものになった。

これまでの新生生の多くは、修学案内ではなく、上級生や同級生に頼って時間割を組むことが多かったと経験的に感じる。今回の改訂作業で改めて感じたことは、旧修学案内がいかに学生にとって利用しにくいものであったかということだ。修学案内がこれまで利用されてこなかったのも無理はない。しかし、学生の視点で改訂されたこの修学案内であれば、きっと多くの入学生が利用してくれることだろう。我々はそう確信している。

なお最後に、今回の修学案内の改訂は、学生の視点だけでもまた成しえなかったことを付言しておきたい。学生の視点は確かに利用者のニーズを如実に反映したものではあるが、ときにそれは行き過ぎることもある。例えば、学生によるインタビューでは、「全学共通科目の意義に関する記述はいらぬ」という過激な意見も聞かれた。自由な発想で出される学生のアイデアに対し、教員や職員がそれぞれの視点から意見を交えるという協働の過程を十分にふんだからこそ、このような修学案内の改訂が可能であったのだと考える。

(光田淳二・小山沙織・近成麻子)

時間割を組もう!

STEP 1

全学共通科目って何だろう? →1ページへ

STEP 2

卒業に必要な単位数の確認をしよう!! →6ページへ

STEP 3

外国語, 各学部の必修科目を時間割に組み込もう。

STEP 4

1. 主題科目から時間割を組みたい! →22ページへ
2. 共通科目から時間割を組みたい! →23ページへ
3. 教養ゼミナールから時間割を組みたい! →5ページへ
4. 健康・スポーツ科目から時間割を組みたい! →27ページへ

STEP4の1~4の内1つが
組めたら, 残りの3つを順番
に組んでいこう。ただし, 自
分の学部の卒業要件に合う
ように気をつけて!

60ページの「全学共通科
目授業時間割表」を参考に
してね。

STEP 5

ひと通り時間割が組めたら, もう一度自分の学部の卒業に必要な
単位数と照らし合わせて確認しよう。

項目早見表

- 時間割を組もう! 左ページ
- 必ずこれだけは知っておこう 1
 1. 入学から卒業まで 1
 2. 全学共通科目の全体像を知ろう 2
 3. 主題科目の主な内容 3
- 全学共通科目に関する卒業要件 6
 - 教育学部 7
 - 法学部 9
 - 経済学部 11
 - 医学部 13
 - 工学部 17
 - 農学部 19
- 全学共通科目の履修について 21
 1. 単位制度 21
 2. 単位取得に関する注意事項 21
 3. 主題科目の履修方法 22
 4. 共通科目の履修方法 23
 5. 外国語科目の履修方法 25
 6. 健康・スポーツ科目の履修方法 27
 7. 履修の手続き 28
- 試験について 29
- 大学構内での自主学习について 30
- 掲示及び諸手続等 33
- 講義室等配置図 34
- 全学共通科目担当教員一覧 46
- よくある質問 51
- 用語集 55
- 平成20年度全学共通科目授業時間割表 60
- 学年暦 85

どんな連絡もすべて掲示で
伝えられます。掲示板の位置
を確認しておこう。



コラム1

教養教育って必要なの?
..... 3

コラム2

教養ゼミを履修しよう!
..... 5

コラム3

瀬戸内研究講義群って何?
..... 5

コラム4

高学年向け教養科目に挑戦!
..... 82

付録

関係諸規則 83

資料4. 新修学案内「目次」

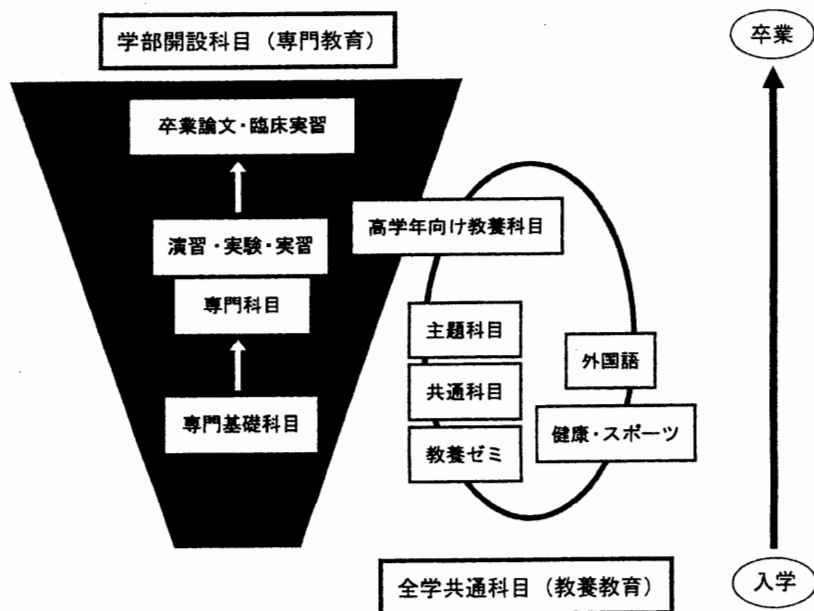
「全学共通科目修学案内」改訂の記録



時間割を組んでいてわからないことがあったら「よくあ
る質問」51ページへ
用語の意味がわからないときは「用語集」55ページへ

必ずこれだけは知っておこう

1. 入学から卒業まで



はじめに、大学生活のスタート地点に立っているみなさんに、これからの4年間(医学部医学科は6年間)の学習の全体的なイメージを説明します。上の図を見てください。

みなさんはそれぞれ、将来への夢や高校での学習の成果をもとに学部や学科を選択し、今、香川大学に入学してきました。それぞれの学部や学科には独自の専門教育の目標や方針があって、「学部開設科目」に関するカリキュラムが準備されています。専門教育ではおもに、高度な学問的知識を身につけたうえで社会に出て活躍したり、大学院に進学して研究を続けたりする人材を育てることをめざしています。

このような専門教育を受けるためには基礎的学力や学習の方法を身につけることが必要です。また、ある分野で立派な専門家になるためには、同時に他の分野の幅広い知識や考え方を知っておくことが不可欠です。これらの目的において開講されるカリキュラム(教養教育)を香川大学では「全学共通科目」という名前でご呼んでいます。みなさんは1年次生の間、この全学共通科目を中心に学ぶことになります。



まずは全学共通科目の全体像を知ろう！

2. 全学共通科目の全体像を知ろう

● 主題科目

現代社会がかかえる様々な問題について6つの主題(テーマ)を設定し、それぞれの主題ごとに複数の講義が開かれています。担当教員が専門の研究分野に基づいておこなう講義を複数受講することによって、多様な学問的アプローチにふれ、その主題に関する総合的・多角的な視点を身につけることをめざします。→詳しい内容は次のページに

● 共通科目

それぞれの学問分野には長い伝統と最新の研究に基づいた体系があります。共通科目の第一の目標は、確立した学問分野を幅広く学んで、様々な学問の対象と方法について、初歩的な理解を手に入れることです。第二の目標は、特に自然科学系のいくつかの共通科目の場合、専門教育を受けるのに必要となる基礎的知識を確実に習得することです。

● 教養ゼミナール

本の読み方・レポートの書き方・発表のコツ・討論のマナー・情報収集の方法など、大学生や社会人として必要な知的技法や学習態度の基盤を身につけるための授業です。みなさんの側からの積極的な参加や能動的な学習がカギになります。また、様々な異なる学部の学生たちが集まって、少人数で勉強する点も教養ゼミナールの大きな特徴です。

● 外国語科目

既修外国語(英語)では、英語を実際に話したり書いたりする能力の向上をめざし、1年生の授業ではTOEIC-IPテストを年に2回受験することで、具体的な学習成果を確認します。同時に、英語以外の外国語も積極的に勉強して、より広い国際的な視野を身につけるために、初修外国語(ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語)が開かれています。

● 健康・スポーツ科目

大学生活でも卒業後の人生でも、心身の健康はすべての土台となる不可欠な要素です。様々なスポーツ種目を通じてプレイの楽しさそのものを実感しながら、参加者どうしの円滑なコミュニケーションや人間関係の構築をめざします。今後の生涯を通じて、自分から進んでスポーツや健康管理をおこなえる能力を養うことを目的とする科目です。

	22 ページ	シラバス I	〇〇ページ～
	23 ページ	シラバス I	〇〇ページ～
	5 ページ	シラバス I	〇〇ページ～
	25 ページ	シラバス II	〇〇ページ～
	27 ページ	シラバス I	〇〇ページ～

教育学部



決定した1つの主題の中から4科目(8単位)以上あるかな?特別主題は1科目(2単位)までその数に数えられるよ。

チェック!

共通科目は2科目(4単位)以上あるかな?ただし、「教育学」は卒業の単位として認められないわよ。



チェック!



教養ゼミナール、高学年向け教養科目はそれぞれ2単位まで卒業の単位として数えられるよ。「2単位まで」だけど、挑戦してみよう。

チェック!

主題科目・共通科目・教養ゼミナール・高学年向け教養科目の単位を合わせると、24単位以上あるかな?この中には選択していない主題科目の単位を含めてもOKだよ。



チェック!



〈学校教育教員養成課程〉外国語科目は6単位以上あるかな?
〈人間発達環境課程〉6単位以上、4単位以上修得した外国語科目がそれぞれあるかな?

チェック!

健康・スポーツ科目の単位は2単位以上あるかな?



チェック!

【教育学部】(平成20年度入学者適用)

区 分	卒業要件単位数					
	学校教育教員養成課程				人間発達環境課程	
	学校教育基礎コース 特別支援教育コース 教科教育コース		幼児教育コース			
主 題 科 目	8単位以上	24単位以上	8単位以上	24単位以上	8単位以上	24単位以上
共 通 科 目	4単位以上		4単位以上		4単位以上	
教養ゼミナール	(2単位)		(2単位)		(2単位)	
高学年向け教養科目	(2単位)		(2単位)		(2単位)	
外国語科目	英 語 ド イ ツ 語 フ ラ ン ス 語 中 国 語 韓 国 語		1種類6単位以上		1種類6単位以上 1種類4単位以上	
健康・スポーツ科目	2単位以上		2単位以上		2単位以上	
専門基礎科目	8単位以上		8単位以上		8単位以上	
専門科目	94単位以上		105単位以上		86単位以上	
計	134単位以上		145単位以上		130単位以上	

- (注1) 主題科目については、開設の主題I~VIの6主題から1主題を選択し、同主題の中から講義題目を選択のうえ4科目以上を履修し、8単位以上を修得しなければ主題科目の単位として認定しない。ただし、特別主題の講義を履修した場合、1講義(2単位)を限度に、修得した単位をいずれの主題にも含めることができる。
- (注2) 教養ゼミナールおよび高学年向け教養科目については、()内の単位数を上限として、卒業要件単位数24単位以内の単位として認定する。
- (注3) 教育職員免許状取得に必要な「日本国憲法2単位」は、法学Aである。



学校教育教員養成課程の学生と、教員免許取得を希望する学生は、法学Aの単位が絶対に必要だよ。

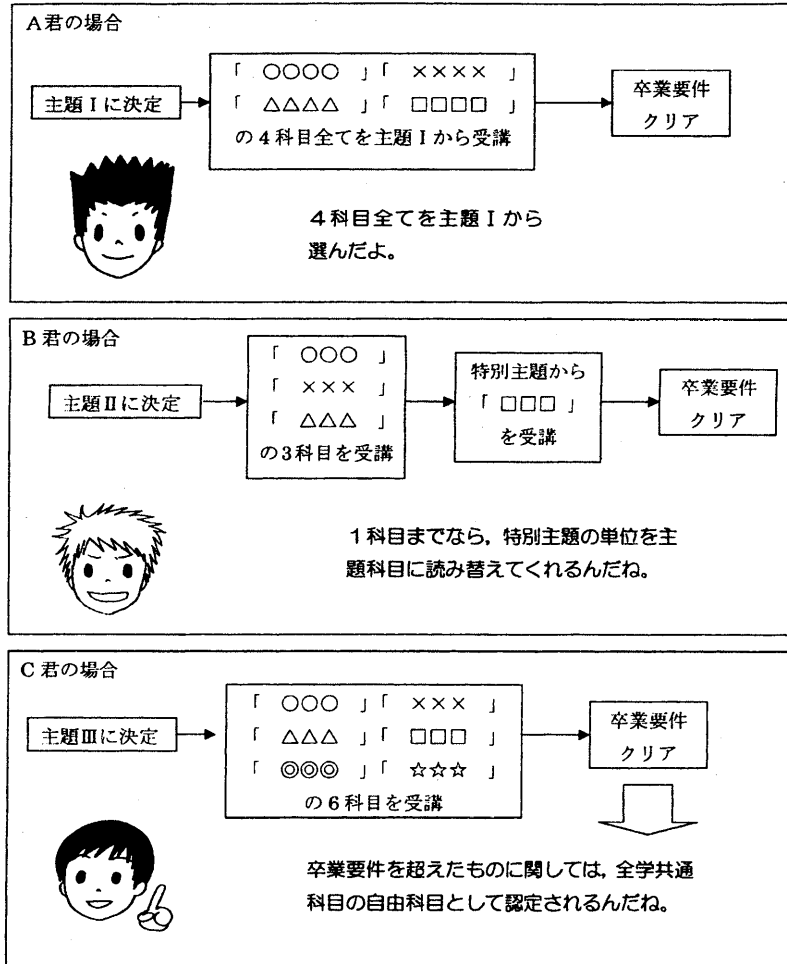
3. 主題科目の履修方法

●全学部共通事項

I～VIの中から選択主題を決定し、その中から4科目(8単位)以上を取得しましょう。

主題の決定については、入学後に掲示で確認しましょう。

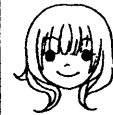
※特別主題(→p.4)を履修した場合、1講義を限度に主題科目に含めることができます。



4. 共通科目の履修方法

共通科目は、原則として自由に選択できますが、幅広く履修するようにしましょう。同一授業科目にある授業は、卒業要件単位としては、2授業4単位(必修科目・選択科目を含む)の履修が上限となります。ただし、実験・演習科目を履修した場合は除きます。

Aさん(教育学部)の場合



「教育学」は受講できません。
「教育学」以外の科目を選択しましょう。

Bさんの場合(法・工・農学部)



法学部生は○の授業の中から6単位以上、
工学部生・農学部生は○の授業の中から4
単位以上修得しましょう。

Cさん(医学部医学科生)の場合



◎の授業単位は全て修得しましょう。
「医学」は履修できません。

Dさん(医学部看護学科生)の場合



◎の「看護学」は必修です。「看護学」以外から
8単位以上修得しましょう。ただし、○の中から
2科目4単位以上修得しなくてはなりません。

共通科目では、様々な学問分野の基礎を学ぶこととなります。学部によって、学部の専門分野と近いために、履修ができない科目があったり、学部での学習に必要な科目として履修が求められる科目があったりするので注意しましょう!



よくある質問

目次

- Q 1 教室の位置がよくわかりません。
Q 2 全学共通科目は1年生のうちに全部履修しなくてははいけませんか？
Q 3 主題科目のテーマはどのように決めたらいいですか？
Q 4 もし単位を取得できなかったらどうしましょう・・・
→51ページへ
- Q 5 主題科目のテーマや教ゼミ、外国語科目のクラスはどのように決まりますか？
Q 6 英語を履修したら、TOEICを受験しなくてははいけませんか？
Q 7 教育学部と医学部以外は、健康スポーツ科目は選択ですが、抽選になることはありますか？
Q 8 授業の教室はどこで調べたらいいですか？
→52ページへ
- Q 9 高学年教養科目ってなんですか？
Q 10 集中講義の履修登録は、登録期間後にもできますか？
Q 11 履修上限（→p59）に集中講義の単位は含まれるの？
Q 12 欠席届はどこで受け取れますか？
→53ページへ
- Q 13 台風が来ているんだけど、休講になるのかなあ？
Q 14 この冊子に書いてある根拠となる規則はどこで見られるの？
Q 15 まだ履修などについてよく分からないんですが、どこに行ったら教えてもらえますか？
→54ページへ



分からないことをそのままにしちゃダメだよ！



Q1 教室の位置がよくわかりません。

A1 講義棟の表し方は、教育学部の場合、教室番号の百の位が何号館を、十の位が階数を、一の位が何番目の教室かを表しています。
つまり323教室は「3号館の2階の3番目の教室」ということになります。

Q2 全学共通科目は1年生のうちに全部履修しなくてははいけませんか？

A2 そんなことはありません。全学共通科目の意義からいっても、1年次ですべてを履修する必要はありません。ただ2年次以降は、それぞれの専門科目が多くなってくるので、取り忘れないようしっかり計画を立てましょう。



Q3 主題科目のテーマはどのように決めたらいいですか？

A3 自分の興味に合わせて決めるのが一番ですが、希望者が多いと抽選になることがあるので注意してください。



Q4 もし単位を取得できなかったらどうしましょう・・・

A4 単位認定されなかった授業は、次年度以降にまた受講することができます。また成績に不明な点がある場合は、成績調査依頼ができますよ。でも日頃の勉強も大切ですよ。けだね・・・

用語集

あ

●オムニバス講義【おむにばすこうぎ】(→p4)

複数の教員が交代して行う講義のこと。いろいろな先生の話が聞けておもしろいよ。

か

●外国語科目【がいこくごかもく】(→p2)

既修外国語(→p55)と初修外国語(→p57)のことを総称して外国語科目といいます。

●学生生活支援グループ【がくせいせいかつしえんぐるーぶ】(→p36)

研究交流棟の1階にある、課外活動(サークル活動)・奨学金・傷害保険など学生生活に必要な事務一般を受け持っているところ。なんでも相談窓口(→p58)もここにあります。

●学務グループ【がくむぐるーぶ】(→p36)

研究交流棟の1階にあります。学生証の再発行や証明書のパスワードを忘れてしまったらここに行きましょう。

●学期【がつき】

香川大学では2学期制をとっています(ただし、医学部は2年次より3学期制です)。4月からの学期を「前期」、10月からの学期を「後期」と呼んでいます。

●既修外国語【きしゅうがいこくご】(→p25)

いわゆる「英語」のこと。

●共通科目【きょうつうかもく】(→p2)

学問分野の基礎を学ぶ授業。「〇〇学」と名前のついている授業は大体そうです。

●教養ゼミナール【きょうようぜみなーる】(→p5)

1年生対象で、25人程度の発表や討論を中心とした授業。いろいろなテーマが開設され、他学部生との交流もあります。興味のあるテーマがあればぜひ受講しよう!

●研究交流棟【けんきゅうこうりゅうどう】(→p35, 36)

教育キャンパスにある、8階建てのきれいな建物。この1階に学生生活支援グループ(→p55)・修学支援グループ(→p56)・留学生グループ(→p59)・学務グループ(→p55)があります。

●高学年向け教養科目【こうがくねんむけきょうようかもく】(→p82)

全学共通科目を履修し終えた学生や、専門の勉強を始めた学生を対象とした科目です。

さ

●幸町【さいわいちょう】

教育学部と経済学部と法学部のある町名。ちなみに幸町には香川大学のキャンパスしかないため、住民は0人です。(香大豆知識)

●試験【しけん】(→p29)

定期試験は毎年7月と2月にあり、中間試験は各授業によってあるものとなないものがあります。テスト形式もあれば、レポート提出のものもあります。この試験の結果で授業の成績が決まります!試験期間は約2週間。自分の授業の試験日がいつなのか、しっかり掲示に注意しましょう。

●修学支援グループ【しゅうがくしえんぐるーぶ】(→p36)

研究交流棟1階にある、全学共通科目に関する事務を行っているところ。全学共通科目について質問があるときはここに行きましょう!また受講票はここに置いてあります。

●集中講義【しゅうちゅうこうぎ】(→p81)

土・日や長期休業中などに行われる授業。授業によって、日数や単位数が違うので、履修する際にはそのあたりをきちんとチェックしておこう!

●授業料免除【じゅぎょうりょうめんじょ】

学生からの願出により、授業料が免除される制度があります。手続きや詳しいことについては、学生生活支援グループ(→p36)で質問してくださいね。

●受講調整【じゅこうちょうせい】

受講生の人数が多すぎる場合に、受講生の人数を調整したり、教室を変更したりすること。抽選の場合、全学共通科目では受講票によるクジが一般的?